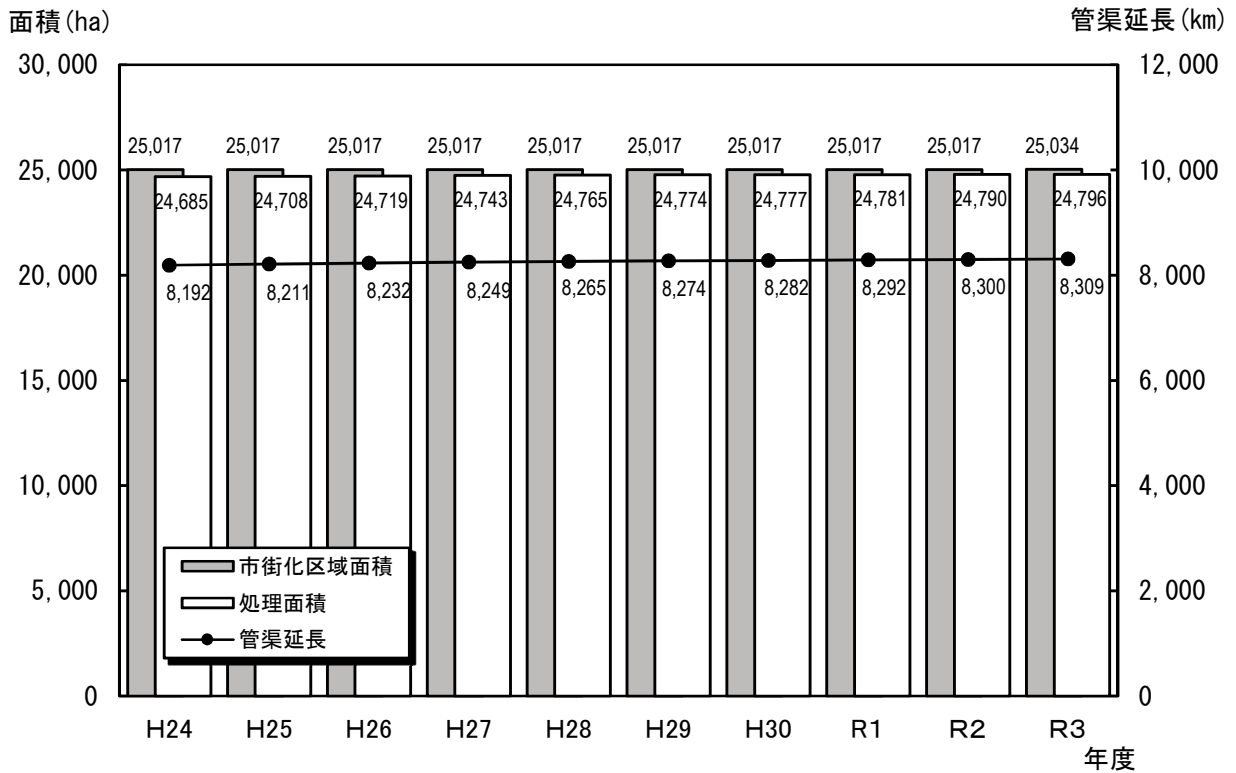
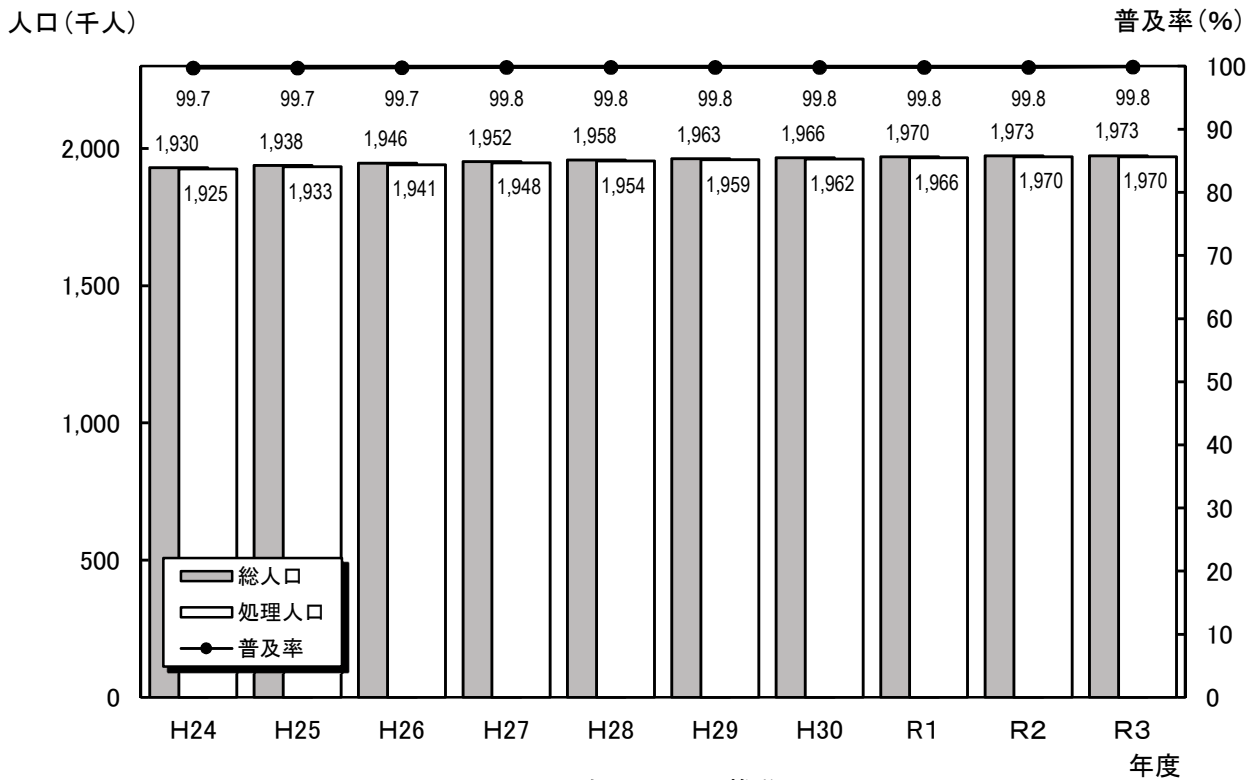


## 10 参考資料

### (1) 整備状況



図－1 処理面積等の推移



図－2 処理人口の推移

## (2) 流入水量状況

表－1 処理水量等の推移

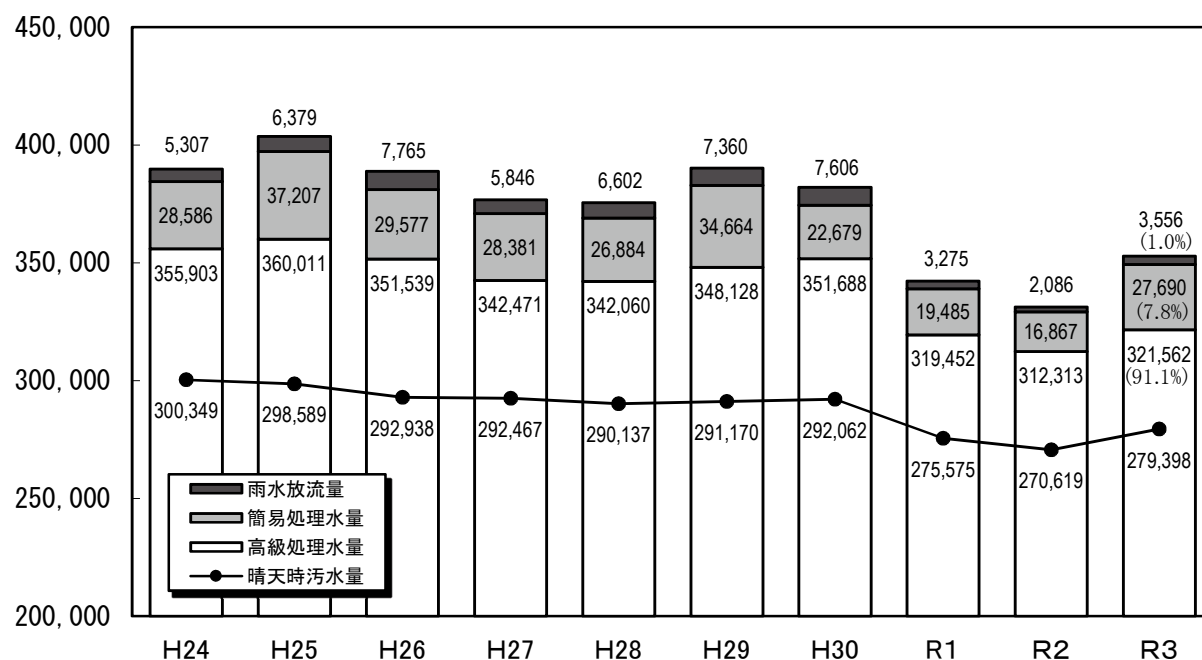
(単位： 千m<sup>3</sup>/年)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
総流入水量		389,796 (100.0)	403,597 (100.0)	388,881 (100.0)	376,697 (100.0)	375,546 (100.0)	390,152 (100.0)	381,973 (100.0)	342,212 (100.0)	331,267 (100.0)	352,809 (100.0)
雨水放流量		5,307 (1.4)	6,379 (1.6)	7,765 (2.0)	5,846 (1.6)	6,602 (1.8)	7,360 (1.9)	7,606 (2.0)	3,275 (1.0)	2,086 (0.6)	3,556 (1.0)
総処理水量		384,489 (98.6)	397,218 (98.4)	381,116 (98.0)	370,851 (98.4)	368,944 (98.2)	382,792 (98.1)	374,367 (98.0)	338,937 (99.0)	329,180 (99.4)	349,252 (99.0)
簡易処理水量		28,586 (7.3)	37,207 (9.2)	29,577 (7.6)	28,381 (7.5)	26,884 (7.2)	34,664 (8.9)	22,679 (5.9)	19,485 (5.7)	16,867 (5.1)	27,690 (7.8)
高級処理水量		355,903 (91.3)	360,011 (89.2)	351,539 (90.4)	342,471 (90.9)	342,060 (91.1)	348,128 (89.2)	351,688 (92.1)	319,452 (93.3)	312,313 (94.3)	321,562 (91.1)
晴天時汚水量		300,349	298,589	292,938	292,467	290,137	291,170	292,062	275,575	270,619	279,398
処理雨水量		84,140	98,629	88,178	78,384	78,807	91,622	82,305	63,362	58,560	69,854
高度処理水量		62,383	62,081	61,976	60,608	59,942	59,500	57,958	53,691	53,124	54,896

\* ( ) は総流入水量に対する割合 (%)

\* 茨戸水再生プラザ及び手稲水再生プラザにおける石狩市分を含む。

\* 高度処理水量は創成川水再生プラザ及び伏古川水再生プラザ (H15から)、東部水再生プラザ (H17から) で高級処理水量の内数

(1,000m<sup>3</sup>/年)

図－3 処理水量等の推移

## (3) 汚泥処理処分状況

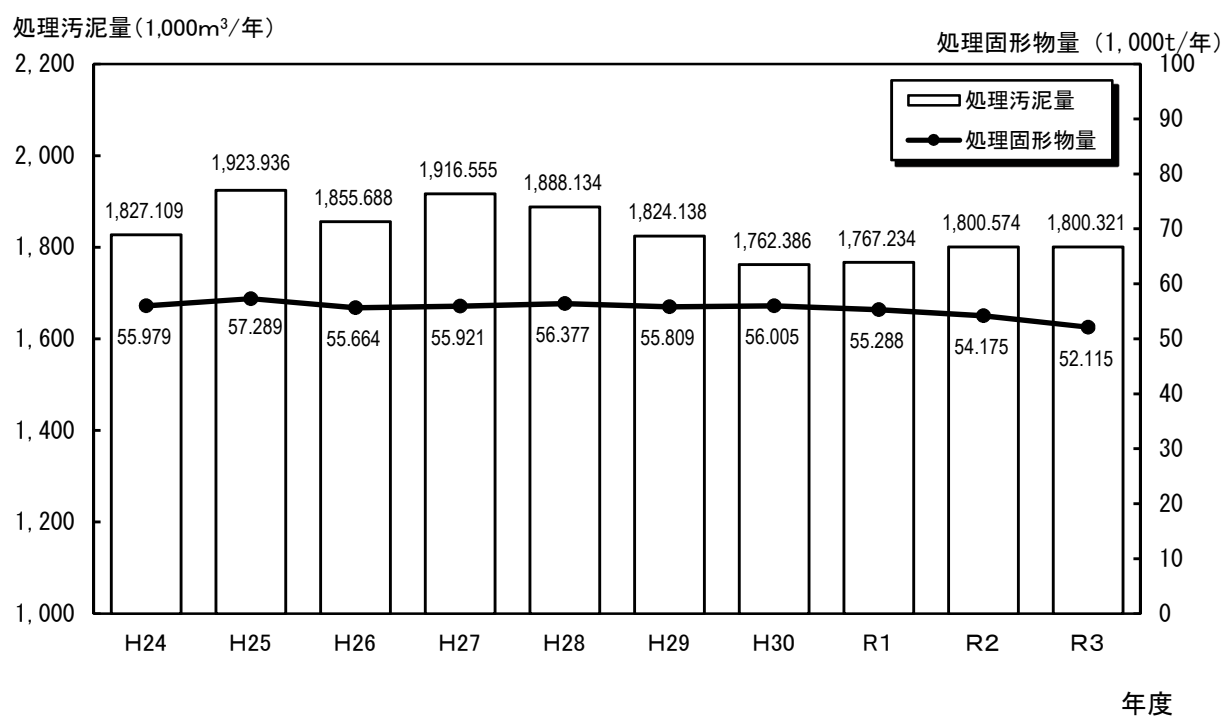
表－２ 処理固形物量・脱水汚泥量等の推移

(単位： t/年)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
処理固形物量		55,979	57,289	55,664	55,921	56,377	55,809	56,005	55,288	54,175	52,115
脱水汚泥量		212,830 (100.0)	220,890 (100.0)	215,659 (100.0)	219,353 (100.0)	218,047 (100.0)	215,499 (100.0)	216,225 (100.0)	213,887 (100.0)	205,749 (100.0)	202,762 (100.0)
焼却		202,619 (95.2)	220,890 (100.0)	214,190 (99.3)	217,853 (99.3)	216,313 (99.2)	213,759 (99.2)	214,646 (99.3)	212,479 (99.3)	204,851 (99.6)	201,926 (99.6)
熱処理		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
西部スラッジセンター		145,158 (68.2)	149,612 (67.7)	151,407 (70.2)	152,609 (69.6)	148,618 (68.2)	149,028 (69.2)	149,606 (69.2)	143,981 (67.3)	129,617 (63.0)	134,409 (66.3)
東部スラッジセンター		57,461 (27.0)	71,278 (32.3)	62,783 (29.1)	65,244 (29.7)	67,695 (31.0)	64,731 (30.0)	65,040 (30.1)	68,498 (32.0)	75,234 (36.6)	67,517 (33.3)
埋立		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
コンポスト化		10,211 (4.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
セメント原料化		1,439 (0.7)	1,516 (0.7)	1,468 (0.7)	1,500 (0.7)	1,717 (0.8)	1,740 (0.8)	1,579 (0.7)	1,408 (0.7)	898 (0.4)	836 (0.4)
調査・その他		0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	17 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

\* ( ) は脱水汚泥量に対する割合 (%)

\* 石狩市分全量を含む。



図－４ 処理固形物量の推移

\* 石狩市分全量を含む。

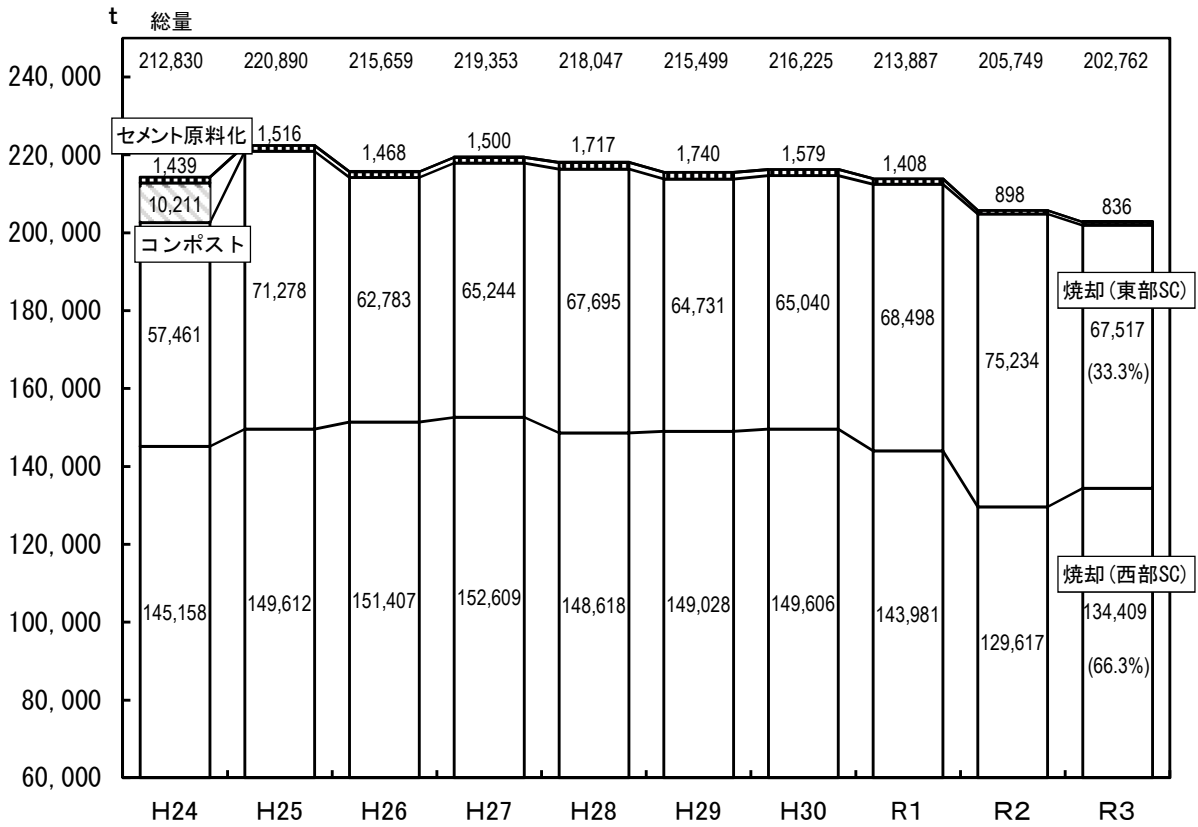


図-5 主な脱水汚泥処理処分量の推移

\* H19年度より東部SCの焼却開始及び豊平川水再生プラザ熱処理休止  
 \* H25年度よりコンポスト工場運転休止

(4) 降水量

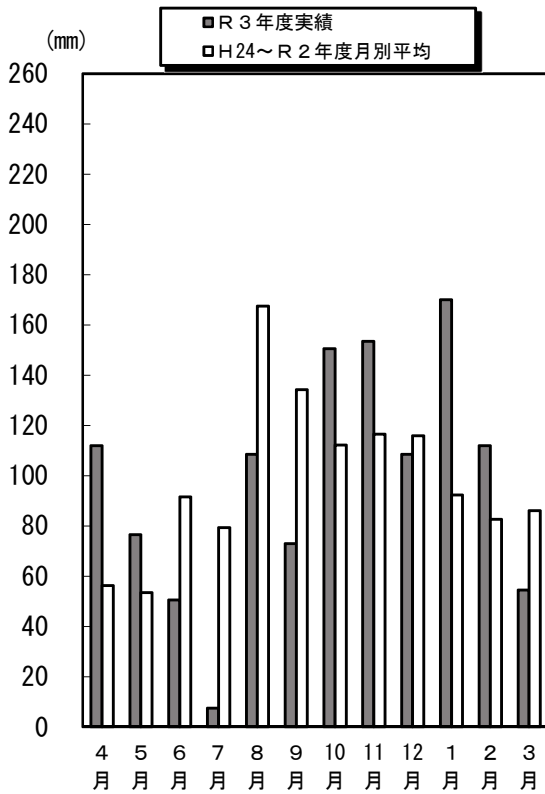


図-6 月別降水量

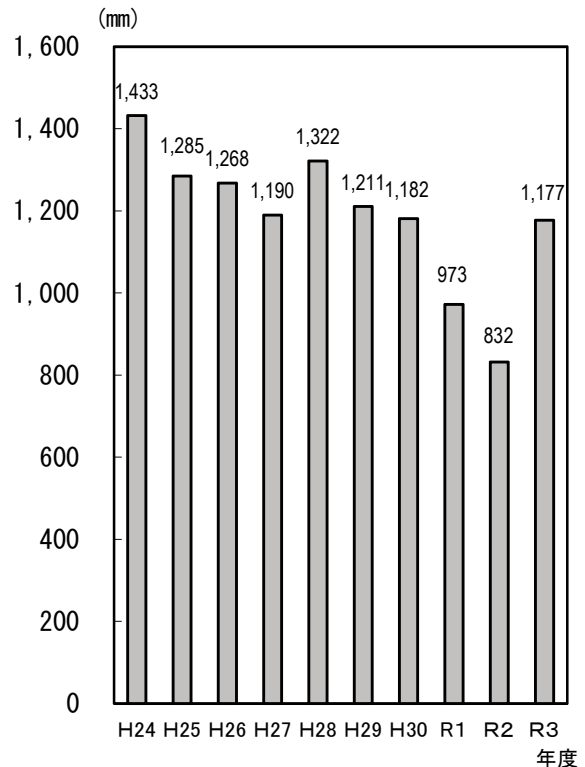
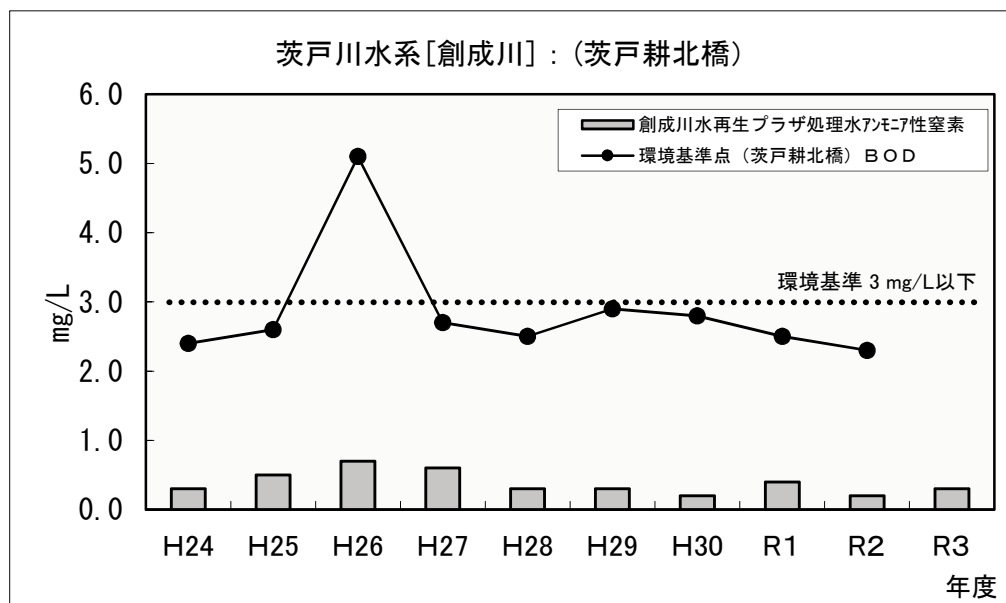


図-7 降水量(年度計)の推移

## (5) 水再生プラザと環境基準点

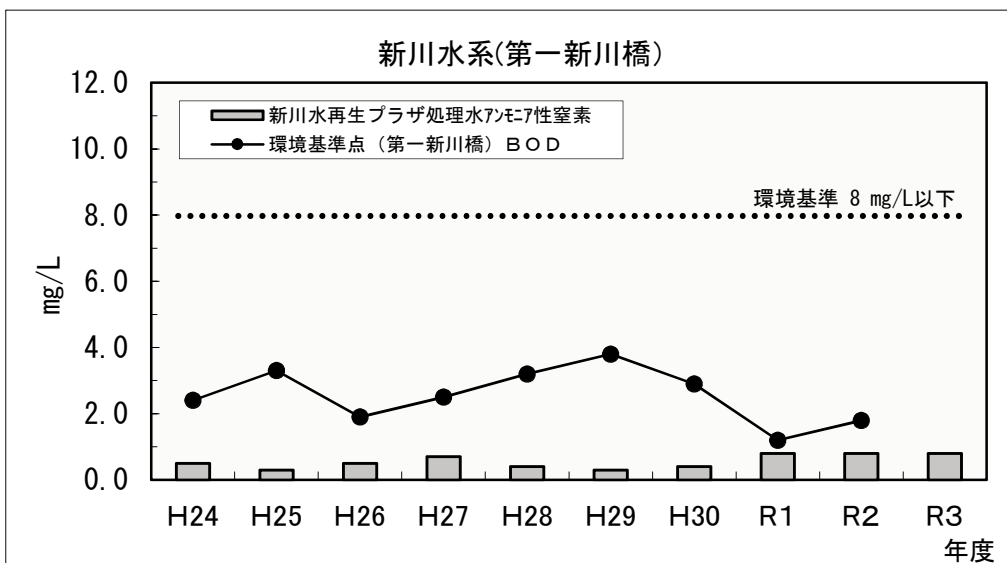
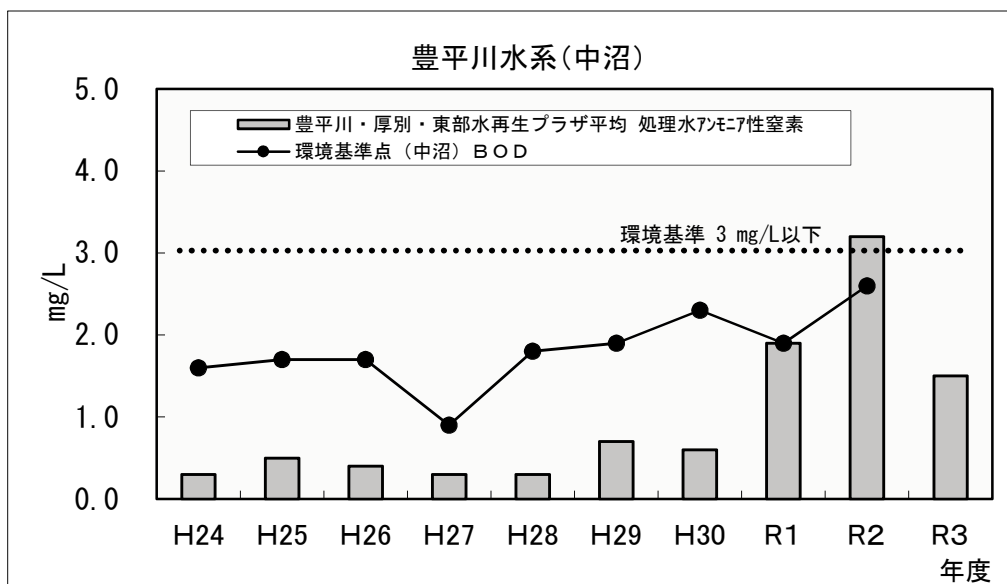
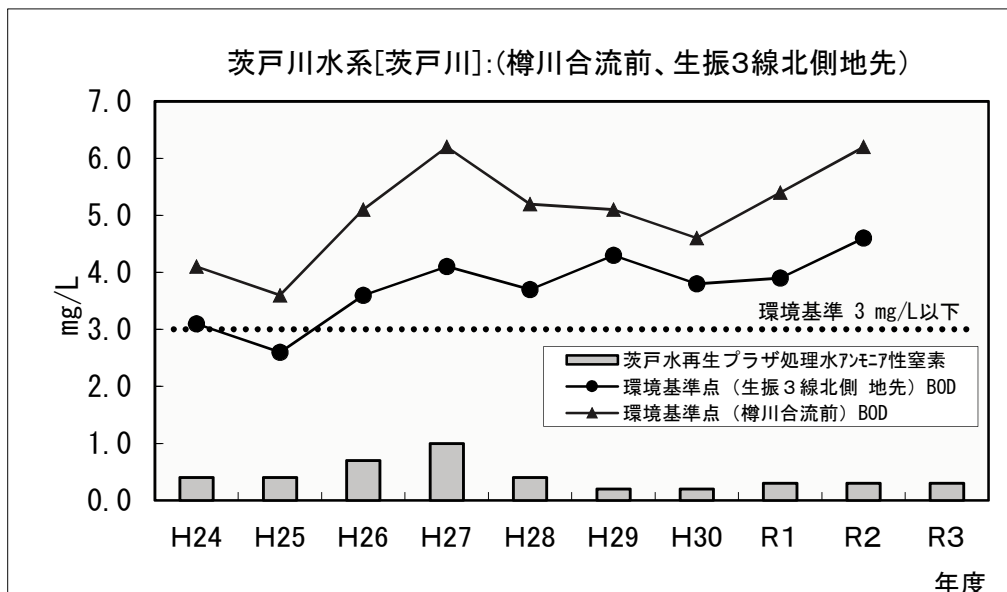


## (6) 環境基準点のBODと処理水アンモニア性窒素の推移



備考 環境基準点のBODの値は、水質汚濁防止法所管庁の公表値で75%値である。

(75%値とは、n個の日間平均値を水質の良いものから並べたときに、 $n \times 0.75$ 番目にくる数値をいう。)



備考 環境基準点のBODの値は、水質汚濁防止法所管庁の公表値で75%値である。  
 (75%値とは、n個の日間平均値を水質の良いものから並べたときに、 $n \times 0.75$ 番目にくる数値をいう。)

(7) 電力使用状況

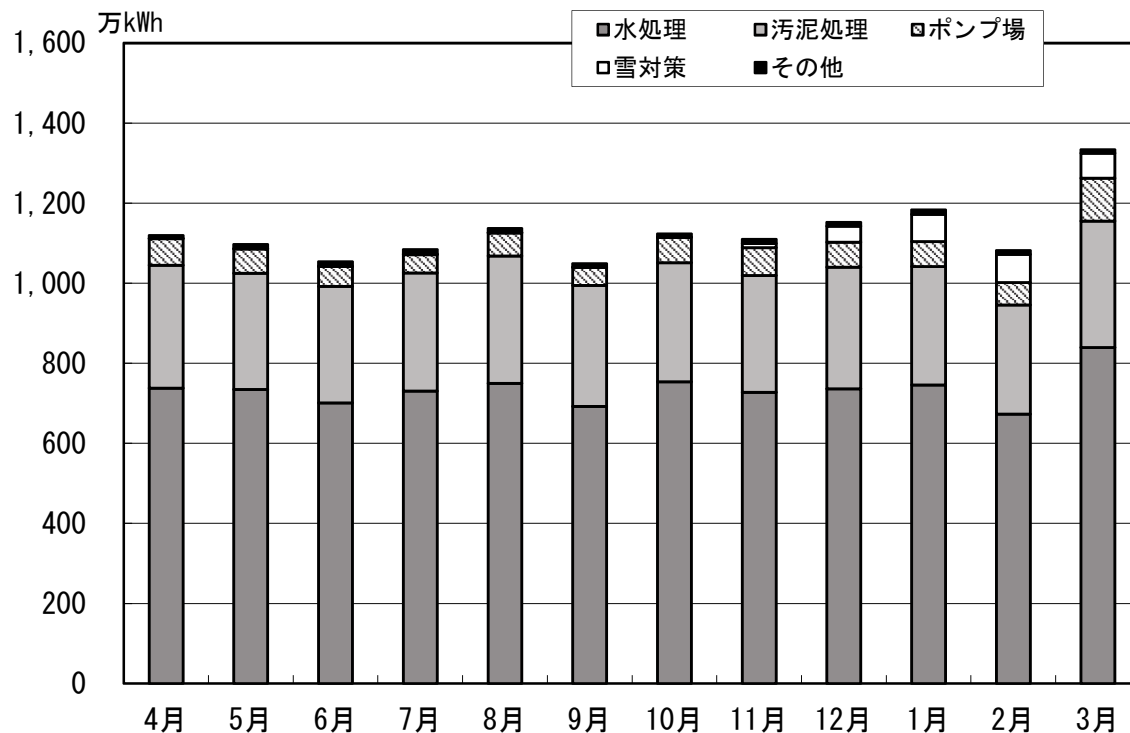


図-8 月別電力使用量 (令和3年度実績)

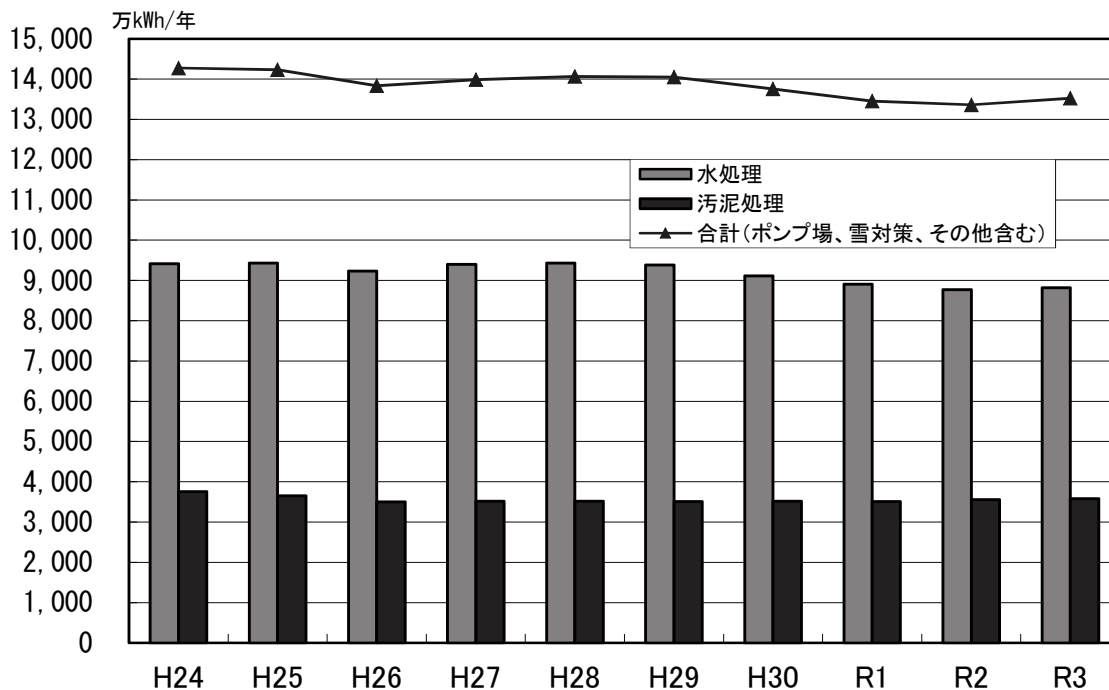


図-9 電力使用量 (年度計) の推移

\* 電力使用量には、自家発電電力量も含む。

## (8) 各水再生プラザの日常試験・24時間試験の項目等について

試験項目	試料と頻度 <sup>注3</sup>						24時間試験 <sup>注5</sup>
	流入水	初沈出水	反応タンク混合液	返送汚泥	終沈出水	放流水 <sup>注4</sup>	
水温*	□週1	□週1	□週1		□週1		
透視度	□週1	◎週1			◎週3		
pH*	◎週1	◎週1	◎週1		◎週1	●月2	
アルカリ度		◎週1			◎週1		
SS	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
DO*			◎週1				
BOD	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
C-BOD					◎週1		◎年2
全窒素	◎週1	◎週1			◎週1		
アンモニア性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
亜硝酸性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	
硝酸性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	
全りん	◎週1	◎週1			◎週1		
りん酸イオン態りん	◎週1	◎週1			◎週1		
大腸菌群数*					◎週1	●月2	
MLSS*			◎週3				
MLVSS*			◎週1				
RSSS*				◎週1			
SV <sub>30</sub> *			◎週3				

注1 上表内で、◎は状況把握、●は法的要求、□は統計・記録を目的に実施することを示す。

注2 日常試験の試料は原則としてコンポジットサンプル（10：00～8：00の2時間毎、12サンプルのコンポジット）を使用するが、試験項目のうち\*印のあるものはスポットサンプル（午前10：00）を使用する。

注3 流入水の採取位置は、返流水が流入する前の箇所を基本とするが、代表的な試料を継続して採取できない場合はこの限りでない。

注4 終沈出水と放流水の水質が等しいと判断される場合、放流水についての試験は別途実施しない。

注5 24時間試験の試料は、アンモニア性窒素については初沈出水・処理水とし、BOD及びSSについては流入水・初沈出水・処理水とする。